







2024/06/14@消費者をエンパワーするデジタル技術に関する専門調査会



株式会社 DataSign 代表取締役社長 太田祐一

自己紹介

太田祐一

おおた ゆういち

株式会社DataSign 代表取締役社長





一般社団法人MyDataJapan 常務理事

内閣官房 デジタル市場競争本部 Trusted Web推進協議会 委員

経済産業省 Web3・ブロックチェーンを活用したデジタル公共財等構築実証事業 アドバイザリーボードメンバー

総務省・経産省 **情報信託機能の認定スキーム**の在り方に関する検討会 委員

総務省 ICTサービスの利用環境の整備に関する研究会 利用者情報に関するワーキンググループ 構成員

DMPやMAツールなど企業主体でパーソナルデータを活用するシステムを開発してきたが、個人が関与できず不透明な状態でのデータ収集・活用に限界を感じ、データ活用の**透明性確保**と個人を中心とした**公正なデータ活用**を実現するため、DataSignを設立。

DataSign の ミッション

だれもが公正に安心して パーソナルデータを活用できる世界を実現する

パーソナルデータは、その活用によって次々と新しいビジネスの機会を生み出しています。ところが、度重なるパーソナルデータの漏洩や不適正な利用により、企業主体での活用への懸念が広がり、世界的に規制強化がなされています。また、パーソナルデータ活用の仕組みも高度化、複雑化し、企業はパーソナルデータの活用を躊躇したり、GAFAに代表されるプラットフォーマーへの依存や消費者のプライバシーへの対応、法令遵守等の課題を抱えています。また生活者も自分のパーソナルデータを保護する傾向が強くなっていますが、自分のデータをコントロールする権利や手段が十分に確保・提供されているとは言えません。DataSignは、このような課題を解決し、企業も生活者もだれもが公正に安心してパーソナルデータを活用できる世界を実現するためにプロダクトを開発しています。

DataSignでやっていること

プロダクト



R&D

DID/VC

Decentralized Identifiers (DID) や Verifiable Credentials (VC) を 組み合わせた分散型アイデン ティティの研究開発を行っています。

DataCleanRoom

生活者の権利利益を保護した上でパーソナルデータを活用するサービスの検討、設計、開発Privacy by Design.

https://datasign.jp/promotion/r-and-d/

調査研究

セキュリティやプライバシーの 問題に対する調査研究を行い、 その結果を新聞・雑誌、学術論 文等で発表しています。

webtru – 同意管理ツール

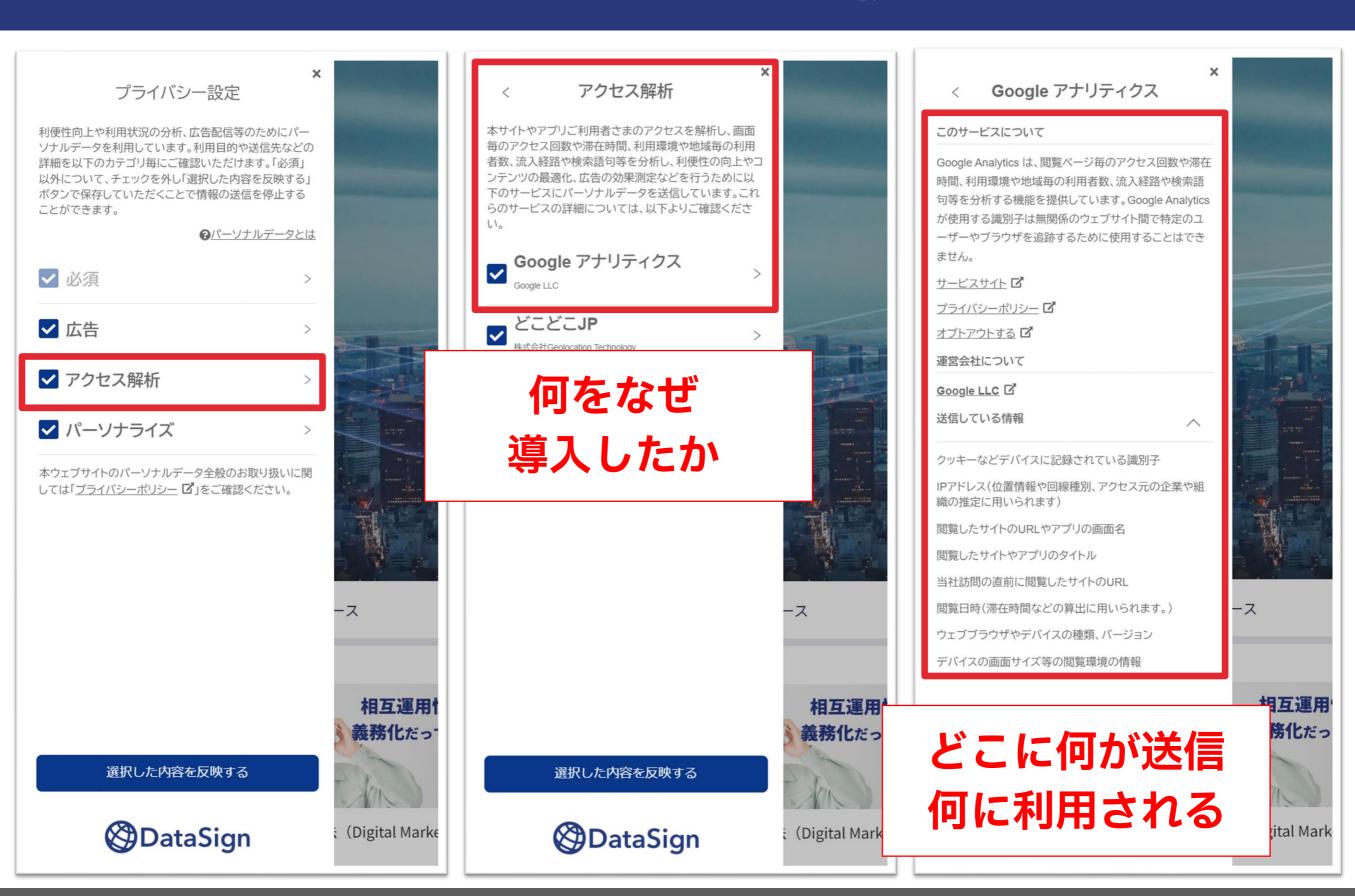


https://webtru.io

webtru - 導入例



webtru - 導入例



Bunsin



あなたの「身代わり」アプリ



メールアドレスをどんどん作れる便利なアプリ!使いたい サービスのアカウント登録に、ブンシンを身代わりにすれ ばアナタの本当の情報を保護することができます。









https://www.bunsin.io/



Bunsin – 利用方法

アプリでダミーのメアドを簡単作成

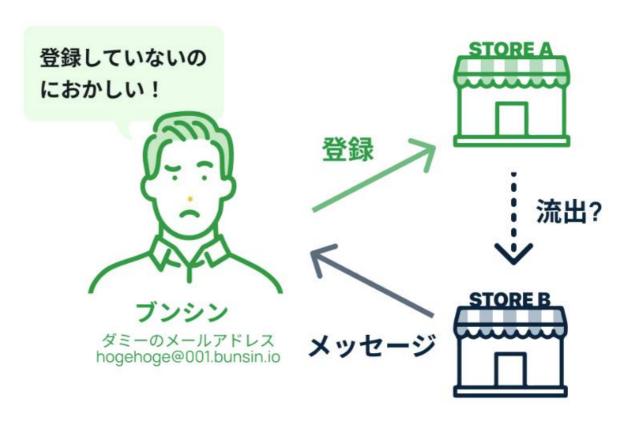
ブンシンで作ったダミーのメールアドレスをアカウント 登録に使用すれば、スパムや漏えいの心配なし!

転送 本体 実際のメールアドレス xxxx@xxxx.jp ダミーのメールアドレス hogehoge@001.bunsin.io

SNSやECサイトに登録

情報漏えいの確認と対策

登録した覚えのないメールがブンシン宛に届いたら、漏えいの可能性あり。自分の身は自分で守りましょう!



提供先に別々の情報を生成

▶ 本当のデータ ト A社用データ

メールアドレス ota@datasign.jp クレジットカード 1111-2222-3333-4444 電話番号 080-1234-5678 住所 東京都渋谷区道玄坂1-15-3 CookieID **XXXYYYYZZZZ**

Bunsin メアド発行 今後電話番号や クレカも発行 漏洩検知

メールアドレス data1@bunsin.io

バーチャルクレジットカード 9999-8888-7777-6666

電話番号 050-1111-2222

住所 東京都渋谷区私書箱111

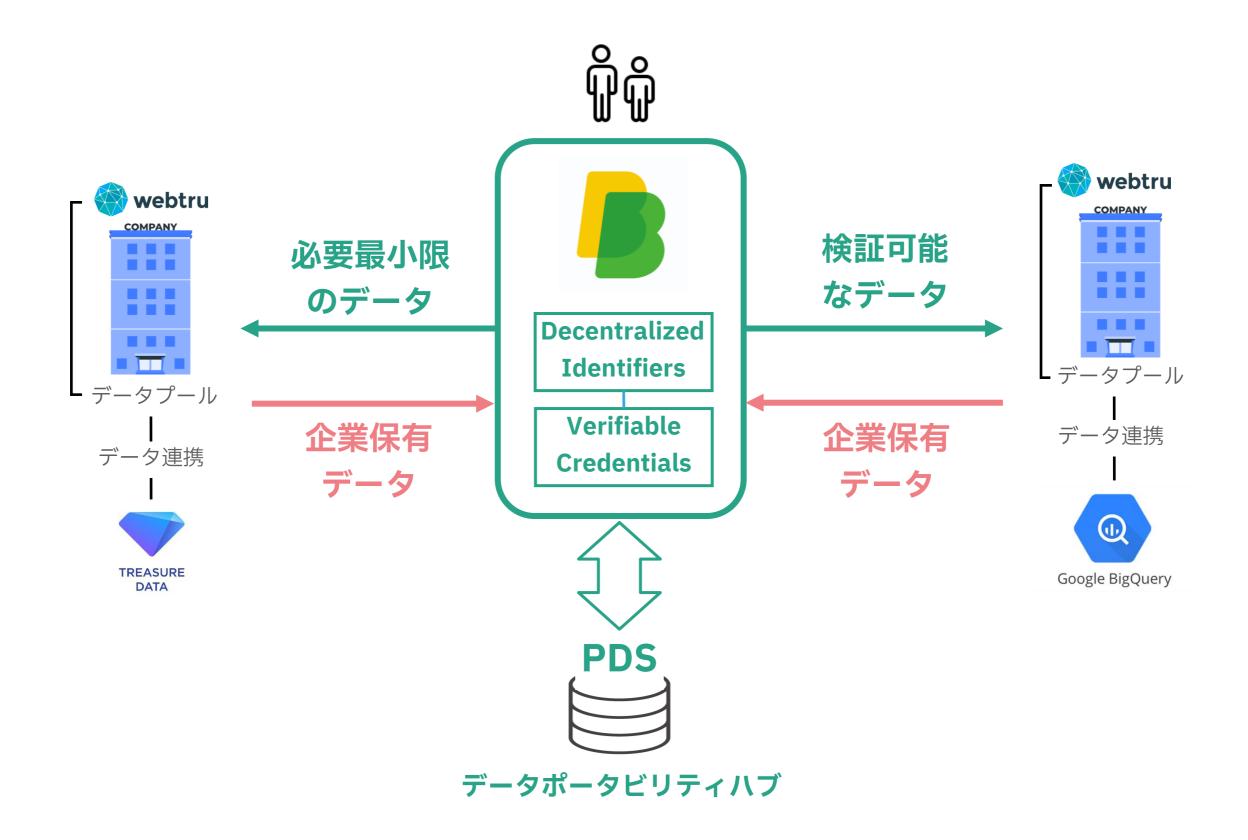
CookieID AAAABBBBCCCC

提供先毎に発行

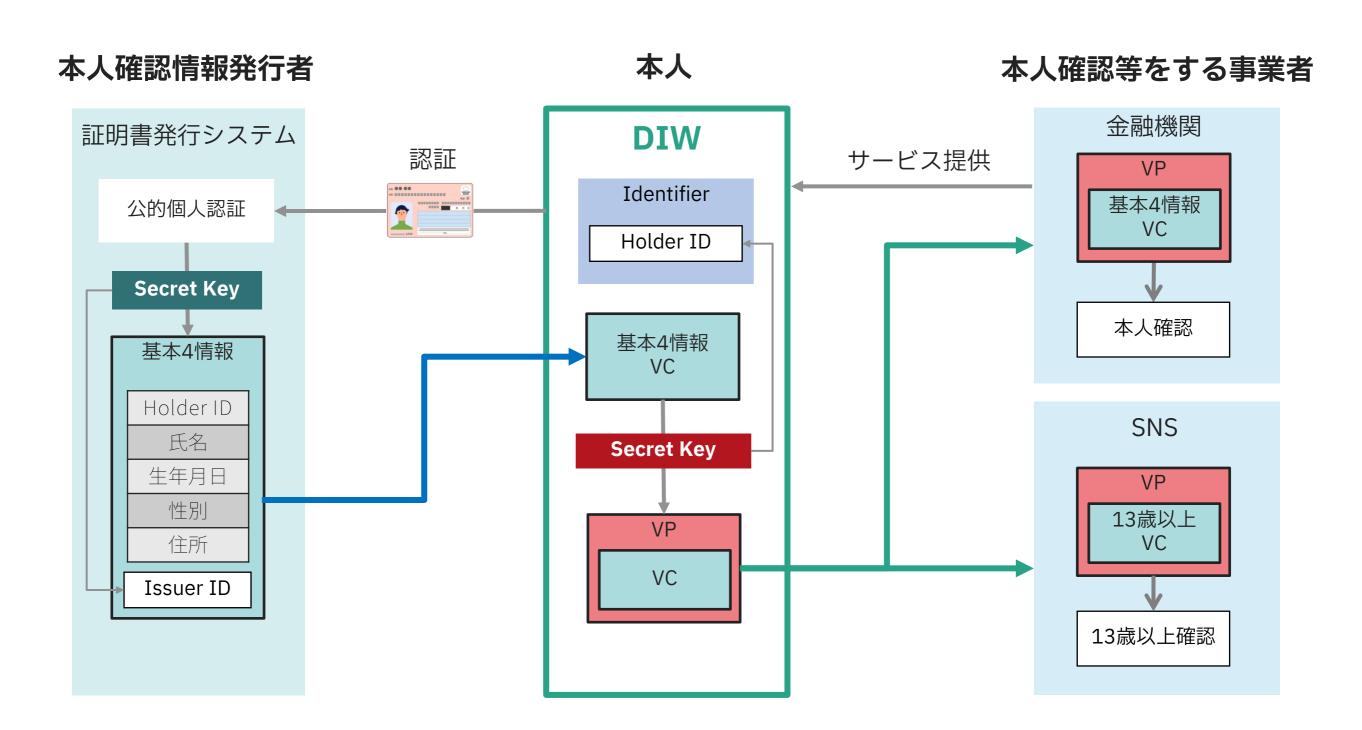
- ・メアド等を提供先毎に変更することで、漏洩・不正利用を検知した場合に通知・無効化(予定)
- ・ダークウェブを監視し、漏洩を検知したら通知・無効化(予定)

特許

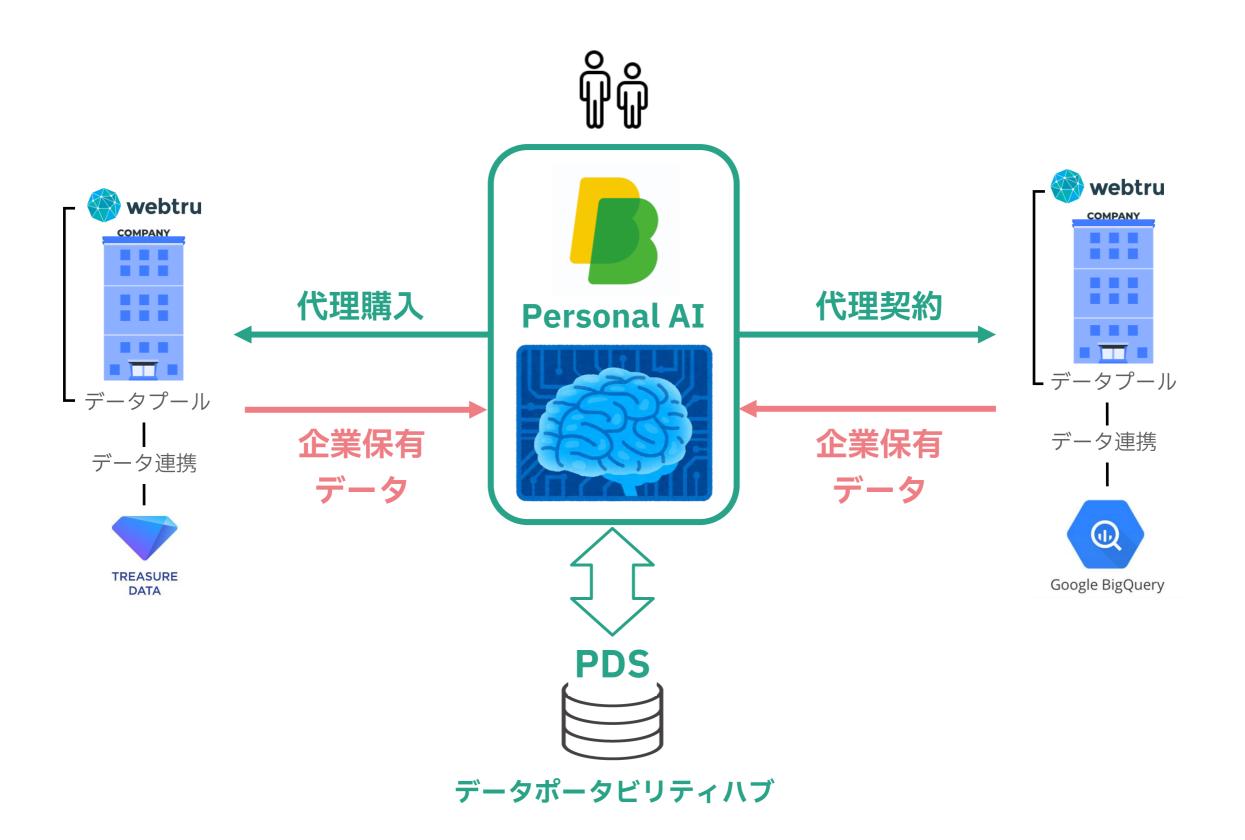
今後の展望 – Digital Identity Wallet & PDS



付録) Digital Identity Wallet (DIW) ?



今後の展望 – Personal AI



課題

1. サービス提供者(DataSign)の信頼性の担保

Bunsinは現状、DataSignが中央集権的な役割を担ってサービス提供を行っており、パーソナルデータを広告利用などでマネタイズしないとしているものの、生活者や企業からしてみればDataSignをどのように信頼すればよいのか。

2. 分散化とビジネスモデル

上記の解決策として、Bunsinのサービス自体を分散化し、DataSignに依存することなくサービスが利用できるように構成することも不可能では無いが、その場合、ビジネスモデルの構築が難しい。また、分散型AIは集中型AIに性能的に劣る。

3. 法律に基づいた個人の権利

パーソナルデータに対する個人の権利(データ最小化やコントローラビリティ)が法的に担保されていないため、企業がこのような取り組みに参加するメリットが少ない。

4. セキュリティ vs プライバシー

050番号に対する本人確認厳格化等により、Bunsin電話番号サービスの提供が困難に。 個人の権利を尊重するか、犯罪等の防止を優先するか。

ありがとうございました



 企業向け
 プライバシー

 透明性確保
 データ保護

https://webtru.io



https://bunsin.io/



https://datasign.jp/